



～建築は、建てることより育てること～

MIZUNO^{しゅんかん}“旬感”だより

vol.221

令和7年7月号

よろこぶ

崋

うれしい・たのしい
愛する

今月の言葉

『小津安二郎の端正な人生』

“昭和100年の100人 完全保存版”より

明治36年に東京の深川に生まれた、映画監督小津安二郎は、生涯に54本の作品を作って、60歳の誕生日である還暦の日に、その生を終えるという、まるで彼の映画そのものをシンボライズするような、端正な人生を送った人であった。

映画は英語で「ムービー」といい、「モーション・ピクチャ」という。「動くもの」であり「動く映像」である。それはそもそも、ヨーロッパ＝アメリカ型の、動的でダイナミックな文明の反映として、生れてきたものなのである。

黒澤彰の日本映画が、第二次大戦後に最初に世界に進出したのは、いわば万国共通のエスぺラント語のような「モーション・ピクチャ」として、彼の作品が日本を描いていたからだ、といってもいい。

ところが、小津安二郎の映画は違った。日本的な静的な文化、スタティックな沈黙の中に総てを集約してしまうような基本をもった文明に根ざした、「日本的な映画」を、彼は確固たる信念をもって、作ったのである。

(中略)

小津映画の最高傑作とっていい、昭和28年の「東京物語」も、尾道の浄土寺の近くに住む老父と老母が、東京の息子や娘や、戦死した息子の嫁の家を訪ねる最後の旅をする姿を通して、日本人の家族関係というものの生と死を、日本的に厳しく崇高に、永遠化してみせた作品である。

小津映画独特のカメラのロー・アングル(低い視点)とは、西洋人が椅子に坐った眼の高さを排して、日本人が畳の上に坐った眼の高さに、カメラの位置をおきかえた構図、といっていだらう。

ヨーロッパ＝アメリカ的な、動きに富んだ映画技法というものを、ほとんど排除して、禁欲的なまでに端正な、日本的な映像表現の作品を作った彼の仕事は、芭蕉の俳句や、能の世界にも似たものだった。

(中略)

「なぜもっと、ドラマティックな動きに富んだ作品を作らないのですか?」と、あるジャーナリストが聞いたら、こんな風に答えている。「私は、たとえば、豆腐屋のような映画監督なのであってね、カツを作れといわれても、それは無理だね。せいぜいが、ガンモドキどまりだよ」と。

私がいちばん好きな小津安二郎の言葉というのは、「新しいということ、それは、古くならないことなのだ」と、いうのである。



水野博旨



空間設計 ミズノ vol.98 のデザイン記録



先日、愛知県長久手市の「ジブリパーク」に行ってきました。スタジオジブリ作品の世界観を建築的に再現したテーマ施設で、幼いころからジブリ映画を見てきた私にとっては、懐かしくワクワクする場所がたくさんありました。愛・地球博記念公園の自然環境を活かし、景観と調和するようにジブリ作品の建物が点在しており、見ごたえ十分です。「ジブリの大倉庫」は、旧温水プールをリノベーションしたもので、天井の高い空間にジブリの名場面が展開されています。ネコバスに入ることができる場所もあり、座席のふかふか具合も体験できました。スケッチ・文：水野真宏



伝統再築士による

古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の
高い木造物を残すための専門家

～風土に合う建築①～

日本にはその土地の自然環境により形成された多様な民家の形態があります。気候・風土・文化などの特性に適応し、独特な街並みを形成してきました。そんな民家について紹介します。

世界文化遺産にも登録されている岐阜県白川郷の「切妻合掌造り」は、本を開いて立てたような三角形の、急勾配な茅葺き屋根が特徴です。一般的な民家と大きく違うのは、屋根裏を積極的に作業場として利用しているところです。幕末から昭和初期にかけて白川村では養蚕業が村を支える基盤産業でした。そのため屋根裏の大空間を2～4層に分けて蚕の飼育場として使用できる、妻の開口部で風と光を取り込むことのできる切妻合掌造りが最適だったのです。また、写真を見てもわかるように同じ向きで建てられています。南北に強い風が吹くので、妻面を南北に向けることで風の抵抗を減らします。60度～75度と急勾配の屋根は、積雪から身を守ってくれます。生活の機能、風土が家の形となっているところに、ますます白川郷の美しさを感じます。



この旬感だよりは
ホームページでも
ご覧いただけます。

株式会社 ミズノ ホームページ→
www.mizuno1950.co.jp



空間設計 ミズノ ホームページ→
www.mizuno-architects.com



第78回ミズノメセナイベントのご案内

会場を涼しくしてお待ちしています！

元キックボクシング世界4冠王

株式会社 BRHT 代表取締役

よし ひろ

佐藤嘉洋氏講演会

『キックボクシングと辞書の旅』

現役選手だった2013年から辞書を1～2ページ読むのが日課。辞書編集をテーマにした小説『舟を編む』に感動し、「辞書を引くだけでは作っている人に失礼ではないか」と思ったのがきっかけという。海外遠征にも辞書を持参した。引退して10年経つ現在も、その日課は続いているという。

7月19日(土)

開場 18:00 (受付開始) / 開演 18:30

※途中休憩あり。20時15分頃終了予定です。

◇会場：株式会社ミズノ1階ヴィレポナール
(地下鉄 東海通駅1番出口より徒歩3分)

◇参加費：1000円(中学生以下無料)

▼お問合せ・お申し込みはこちらのお電話・FAX・メールにて承ります。

ご参加希望のイベント・お名前・ご連絡先・ご参加人数をお知らせ下さい。

TEL052-652-6886 FAX052-661-0653

メールアドレス mizuno@mizuno1950.co.jp →



メールの際は
こちらの
QRコードを
ご利用下さい。

185cmを超える長身なのに、元キックボクサーとは想像つかない飄々とした雰囲気。佐藤氏。女性ファンも多そうですが、私も彼のファンで、何度も講演に足を運んでいます。とにかく話が面白く、辞書を読みみたいと思う、その風変わりな視点や、辞書を何冊も読破しているだけあっての見識の広さに毎回感心します。年齢関係なく楽しめると思うので、ぜひ佐藤氏に会いに来てください！



オリジナル
グッズを
プレゼント！

7/30
梅干し
の日

“梅はその日の難逃れ”。朝、梅を食べるとその日の災難から逃れることができるということわざがあります。梅には疲労回復や殺菌の効果があるので、古来から薬のように重宝されました。身体の不調やそれによって起こる災難から免れることから、**難(7)が去る(30)**の語呂合わせで、7月30日が梅干しの日となりました。

料理の味加減、身体や物事の具合が良い状態に使う“**いい塩梅(あんばい)**”という言葉。実は語源は梅干しを漬けた時に出てくる**梅酢**で、昔は梅酢と塩で料理をしていたので、梅酢の味が味付けの要だったのです。元々は梅酢を作る目的で梅干しを漬け、残った実も美味しいから食べるようになったといわれています。

食べ合わせが悪いとされている“**梅干しとうなぎ**”ですが、全く根拠はなく、むしろ一緒に食べることで、最強の夏バテメニューなのだそう。うなぎも梅干しも食が進みます。贅沢を戒めるために、そんな迷信が生まれたという説があります(笑)。



熱中症や夏バテ防止にも梅干しを！

—ミズノメセナイベント 年内の予定—

第79回

9/26・27・28

(金・土・日)

11:00～18:00

(最終日は17:00)

『**間**』
空間、時間、人との間を
大切に暮らす

藍染、彫金、帽子、友禅、
絵、開運印鑑&占い…
アートでミズノの今年の
言葉が表現されます。

作家展
展示&販売
ワークショップ

第80回

11/29(土)

18:30～

ドラマチックピアニスト

はちまん正人 ピアノコンサート

3度目の
出演！

第2回ミズノメセナ103

参加のお申込みはこちらへ

NEW

有形文化財の空間で学ぶメセナ、始めました！

めざせ！小説家！直木賞・芥川賞！

大人の作文教室

※毎月第2水曜日に開催予定です。

【日 時】7月9日(水) 13時～15時

題目は、『次世代に残したいもの』

又は『次世代に残したくないもの』

【日 時】9月10日(水) 13時～15時

【場 所】名古屋陶磁器会館 1階 103号室

【持ち物】ノート、筆記用具

【受講料】1000円/1回(呈茶付き)

【講 師】ワインセミナー講師でお馴染み
『ワインの謎解き』著者 安間宏見氏

●今後の予定→10/8・11/12(随時参加可能です。)

●必ず予約をお願い致します。

6月11日に第1回が行われました。初めましての方ばかりでしたので、安間先生も交えて、各々生まれ育った地のお話など和やかに雑談からスタートしました。

今回の題目は『10年後の私』でしたが、自分のことを文章にするのはみなさん何十年ぶり？とのこと、なかなかペンが進みません。書き始める前の下準備などを安間先生から教わり、次回までの宿題となりました。1回だけでも、随時参加可能です。昭和初期にタイムスリップを味わえる空間へ、ぜひお越しください。



住宅・店舗の設計・施工・監理

株式会社 ミズノ

〒455-0001

名古屋市港区七番町5丁目3番地

Tel: 052-652-6886

Fax: 052-661-0653

Web: www.mizuno1950.co.jp

Mail: mizuno@mizuno1950.co.jp

0120-387-312



・駐車場は社屋南側と郵便局側にございます。
・市営地下鉄 名港線 東海通駅(1番出口より徒歩3分)

一級建築士事務所

空間設計 ミズノ

〒461-0025

名古屋市東区徳川一丁目10番3号

名古屋陶磁器会館 1階103号室

2階204号室

Tel: 052-982-8316

Fax: 052-982-8357

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計
コンバージョン(用途変更)など



【最寄の駅】市営地下鉄 桜通線 高岳駅・車道駅(徒歩20分)
【最寄りのバス停】市バス 赤塚白壁バス停(徒歩5分)